

献 辞

経営学部長 村 上 宏 之

青木正樹先生は、平成15年3月末日をもって3年間の再雇用の任期を終えられて松山大学をご退職されることになりました。

先生は、昭和43年4月に松山商科大学（当時）経営学部に専任講師として赴任され、助教授を経て、昭和54年4月に教授に任じられています。先生は、ご退職までの35年間にわたり研究と教育に熱心に携われてこられ、大きな足跡を印されています。

先生のご専門は「フランス文学」で、フランス語教育の面においても常に謙虚なご姿勢で研鑽を積んでおられます。先生は、過去3回にわたって、フランスのモンペリエ（昭和45年）、トゥルウズ（昭和56年）、グルノーブル（昭和60年—昭和61年）において、フランス語教授法の研修・研究も行っています。実用フランス語検定試験も、毎年2回、愛媛県内では松山大学だけで行っています。この検定試験は四国では香川大学と松山大学だけが行っており、松山大学が他大学と並んで社会的貢献を果たしているのも青木先生のご尽力によるものです。また同時に、松山大学の学生において、検定試験の着実な成果を生んでいることは申すまでもございません。

ご在職中、先生は、昭和56年4月から昭和58年3月までと平成7年4月から平成11年3月までの3期にわたり学生委員長に就かれたほか、各種委員会委員も務められ、本学の教育目的達成に寄与されました。

学外にあっては、日本フランス語フランス文学会において、平成4年から平成8年まで渉外委員会委員のほか、中国・四国支部の支部機関誌編集委員など各種委員を歴任されています。先生のお力をもって、本学において、昭和48年と平成3年の過去2回にわたり中国・四国支部大会、平成11年には全国大

会(秋季)も開催されています。また、日本文体論学会大会も、やはり本学で、昭和57年と平成6年の過去2回にわたり開催されています。これらすべてが、先生のご業績そしてその温厚篤実なお人柄が学内外で厚い信頼の念を生んでいることの証でもあります。

さらに、隊長として松山商科大学(当時)山岳会を率いた世界の山々への登頂、愛媛県山岳連盟や国際山岳連盟でのご活動といった数々の学内外でのご実績を通じて、先生は本学の知名度を国際的に高めるのに大いに貢献されています。また、先生のお名前は、『Who's who in the world』(Marquis who's who, USA)や『Outstanding people of the 20th Century』(International Biographical Centre, Cambridge, England)にも掲載されています。これらのことは、本学のような地方都市にある大学にとって、かけがえのない財産でもあります。

青木先生、長い間本当に有り難うございました。これからも私たち若輩者へのご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたしますとともに、先生の今後益々のご活躍ご健勝を祈念して献辞といたします。